



# 至誠・致知・鍛錬

甲斐市立双葉中学校  
 学校だより  
 発行 校長 中村 忍号  
 平成30年度 第7号  
 9月11日発行

「自分に克つ(じぶんにかつ)自分の弱さを受け入れることで、本当の強さを得ることができる」とてつもない挫折こそが  
 一番の力となる。逆境の中においても、素直な姿を持ち続け、喜びが得られるようなチャレンジをしていきたい。

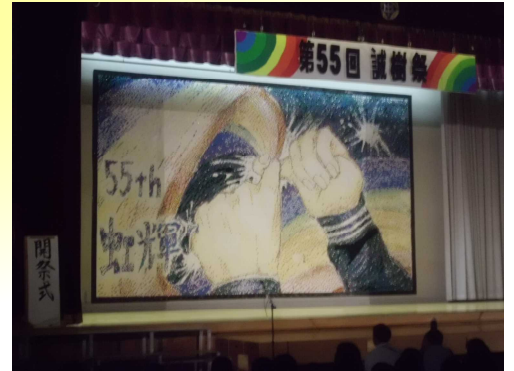


## 「誠樹祭」ありがとうございました

9/7(金)・8(土)に第55回誠樹祭を行いました。

甲斐市教育委員 柳本 博美 先生をはじめ、たくさんのご来賓、地域、保護者の方々にご来校いただき、盛大に開催することができました。「露が主役」という言葉があります。緑の美しさや花の鮮やかさに隠れ、自分は決して出しゃばることなく、役立ちながら姿を消してゆく露のごとく、生徒は、「虹輝」のテーマのもと、いろいろな輝きを放ちながら、それぞれの分担の中で、協働して誠樹祭をつくりあげることができました。

これからも、地域に開かれた学校として、保護者・地域の皆さまと共にチーム双葉中として、生徒の成長に力を注いでいきたいと思ひます。



## 「1学年発表」

1年生は、学年劇「雨降り小僧」を発表しました。雨降り小僧の命を投げ出しての消火活動、ぼろぼろになりながらも友を信じて20年間約束を待ち続ける姿から、小さな約束かもしれないけど、それを守ることの大切さが、ひしひしと伝わってきて胸が苦しくなりました。友情を大切にしていこうという1年生の切なる思いが伝わってきて、これから双葉中で3年間を過ごし、成長していく姿が楽しみとなりました。

分校の火災シーンのセット、ステージ横に作られた舞台の配置、妖怪の姿等にも、非常に工夫が見られ、楽しく劇の世界に入り込むことができました。ラストシーンでは、涙が止まりませんでした。



## 「2学年発表」

2年生は、学年劇「エルコスの祈り」を発表しました。ピュアなロボットエルコスからのまっすぐなメッセージに、何度も心を打たれました。教師として、人の親として、大切なメッセージを受け取ることができました。子どもたちの素直な笑顔がたくさん見られる機会を作ることが、子どもたちを未来につなぐための私たち大人に課せられた使命だと思ひます。

2年生も、この劇を作り上げながら、中学生として、どう生きるべきかを考えるよい機会となったと思ひます。

プロ顔負けの背景に臨場感があり、役者のパフォーマンスをさらに高めていたと思ひます。3人の教師役のやりとりが面白く、切れのある集団ダンスと共に、非常にマッチした劇となっていたと思ひます。



## 「3学年発表」

3年生は、学年劇「ふるさと」を発表しました。ふるさととは、日本人の誰もが心の奥底に眠っている、遠く離れた地から生まれ育った地を想うことであり、「日本人の心そのもの」だといえると思ひます。大震災を通して、心の中に持ち続けるふるさとの持つ意味を考えられる素晴らしい劇でした。

役者がそろっており、一人ひとりの演技力はもちろんのこと、舞台装置(特にリアルな校門と波の表現)にも見応えがありました。心の変化を伝えなければいけない難しい演技をわかりやすく表現していたところに、さすが最高学年だと感心しました。

これからも、限られた中学校生活の中で、自分のために、双葉中のために、たくさんの虹輝を放ってほしいと思ひます。



## 「科学部発表」

文化部門午前の部の最後に科学部が発表をしました。人が入ったシャボン玉カーテン、水溶液で風船を割る等、科学部でなければできない実験を披露してくれました。実験で失敗することもありましたが、その秘密をわかりやすく説明してくれたので、みんな理解できたと思います。ペットボトルロケットは、2回とも空中に発射できて感動的でした。参加型形式で楽しく発表してもらったことで、科学の魅力や科学部の活動をより理解してもらった機会となったと思います。

10/28(日)10:00~双葉ふれあいホールで実施する「秋の青少年育成双葉地区民大会」でも、本校の科学部の発表を予定しています。地域にも活動が発信できればと思います。



## 「吹奏楽部発表」

文化部門午後の部のスタートとして、吹奏楽部が発表を行いました。「夏祭り」「あとひとつ」等ののりのある曲や心にしみる曲で、観客と一体となった演奏がスタートしました。

3年生にとっては、これが最後の演奏となりました。3年間の中で、みんなで一つのものを作り上げる喜びや、一人でもかけてしまおうと演奏にならない存在感等、吹奏楽部でなければ得られない充実感があったことと思います。

これからも、吹奏楽を続けることで、新たな楽器・楽曲、そして友との出会いがあると思います。それぞれの個性を尊重し、認め合うことで、音楽を奏でる時間や聴く時間が、人間関係をつなげ、また新たな1ページを作っていくことでしょう。



## 「体育部門」

誠樹祭2日目の体育部門は、天候が心配されましたが、「いいかげん」の天候で、無事開催されることができました。生徒は、校庭にあふれるたくさんの観衆のおかげで、気持ちよく活動することができたと思います。

最後の3年生男子ムカデ競争のゴールでは、女子が近くまでいって励ます等、クラスの団結力を目の当たりにすることができました。汗と涙をいっぱい流して、一生の思い出になったことと思います。

体育館の閉祭式では、これまでの取り組みから誠樹祭のゴールまで、映像で振り返ることにより、もう一度、その瞬間毎の感動がよみがえり、残像として心に刻むことができました。

生徒会を中心に、全校が一つになる時間を作り出すことができ、大成功の誠樹祭フィナーレとなりました。

たくさんの感動をありがとうございました。



## 表彰等

荊崎警察署管内中学生防犯弁論大会 奨励賞  
交通弁論大会 奨励賞

## 「チーム双葉中」

教職員40名 生徒450名 保護者407名が

「チーム双葉中」として取り組んでいます。

学校住所：〒400-0106 甲斐市岩森1337

電話：0551-28-2019 FAX：0551-28-5689

ホームページ <http://www.city-kai.ed.jp/fchu/> も併せてご覧ください。